

先行する神の恵み

I 「隔ての壁」：14 すなわち「敵意」：15を主は御生涯と十字架の御業の中で（「ご自分の肉において」：15）打ち壊して下さいました。人は主を十字架で殺しましたが、主はその十字架によって神と人の隔て、敵意、人と人の隔て、敵意を殺されたのです。この主を信じ、主にしっかり繋がる時、主の成就された御業の恵みと主の命が私達に注がれ、自分ではどうする事もできない隔ての壁や敵意を平和の主は打ち壊し、真の平和であり続けて下さるのです！主を見上げ希望を持ちましょう。相手はコントロールできませんが、自分の心に平和の主を迎え続ける事は、あなたにできる選択です。キリストこそ私達の平和「であり」：14 →現在形：「であり続け」。私達は自分の力では平和はつくれなくても、キリストこそ私達の平和であり続けて下さるのです。キリストと別に平和があるのではなく、「キリストこそ」私達の平和！故に平和そのものであるキリストとの関係、命のつながりが大切です。※私の証し：和解

II キリストは「様々な規定から成る戒めの律法」を「廃棄されました」：15。ユダヤ人と異邦人（外国人）を隔てる原因となっていた「さまざまな規定から成り立っている戒めの律法を主は廃棄されました（破壊するの意ではない。原語の意：無効にする、働くことが出来ないようにする）。どのようにして？「ご自分の肉において」。つまり、神であられる主ご自身が実際に受肉され、クリスマスに人となられ、律法を完全に守られ、旧約聖書が指示していた罪の償いの動物のいけにえ（主の十字架のいけにえを指示していた）を主の十字架の死（主ご自身の命、血をいけにえとして捧げられた）で成就され、律法を「廃棄」＝「成就された」のです。実はユダヤ人自身も律法（心を尽くして神を愛する事と隣人を自分ように愛する）を守っていませんでした（ガラテヤ6：13）。「わたしが来たのは律法や預言者（旧約聖書）を…廃棄する（原語：解体する、崩す、破壊するの意）ためではなく、成就するために来たのです」（マタイ5：17）。旧約聖書と新約聖書は、補い合い理解を深める。故に両方を読み味わう事が大切。「キリストが律法を終わらせられた（キリストは、罪を犯さず、神の律法を完全に守り、十字架の死と復活をもって律法を成就された）ので、信じる人はみな義と認められるのです」（ローマ10：4）。もしキリストが律法を成就されていなかったら、私達人間は、誰も完全に律法を守る事は出来ないで、誰も救われる事は出来なかった。しかし主が十字架にかかり律法を成就されたので、主を信じる信仰の道が開かれた。→「イエス・キリストを信じる信仰による神の義（罪が赦され神と正しい関係に入れられる）であって、それはすべての信じる人に与えられ、何の差別もありません（隔ての壁は打ち壊されました）」ローマ3：22。

III 「こうしてキリストは、この二つをご自身において新しい一人の人に造り上げて、平和を実現し」：15。キリストが真の平和を実現される方法は、隔ての壁、敵意をもって対立しているユダヤ人と異邦人、そして私達に、それぞれ譲歩、妥協を迫る事によって、解決されようとしたのではない。和解者である主ご自身が、ご自身は何の罪もないのに十字架でご自分の肉を裂き、苦しみ、血を流して私たち人間の罪を完全に償われたのです。それはユダヤ人と異邦人、そして私達の罪、敵意の償いの為でした。この罪のない主ご自身が、自分達の身代わりに十字架で苦しみ死なれた深い十字架の意味を知る時、当事者であるユダヤ人、異邦人、そして私達が自分の罪に目覚め、主を信じ愛を受け、お互いに心から和解するようになるのです。平和を実現なさるキリストの方法は、二つのものを二で割るやり方ではなく、「二つのものをご自身において新しいひとりの人に造り上げて、平和を実現する」：15というものです。「ご自身において」が大切！「造り上げて」（創造する、造る。2：10）：初めの創造も、この新創造も素晴らしい御業なのです。修理ではなく新創造。神の救いは罪の赦しだけではなく、新しい創造なのです。「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者（新創造）です」II コリント5：17。「割礼を受けているか受けていない

かは、大事なことではありません。大事なのは新しい創造です」ガラテヤ6：15。救われた私達は、人を隔て差別し敵意を持っていた古い性質のものとは全く違う新しく「ご自身において」創造されたものです。「私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています」Ⅱコリント4：16。：15の「新しいひとりの人」とは、「キリストのからだである教会」のこと。古いひとりの人＝アダムにつながる人類に対して→キリストを信じキリストにつながり、新創造されたキリストの人類＝「新しいひとりの人」＝キリストの教会があるのです。神の御目的、ご計画は、私たち一人一人が救われて、バラバラなのではなく、私達を「新しいひとりの人」＝主の体である教会に造り上げて、キリストにある真の平和を実現し続ける事です。神はキリストにある新しい共同体＝教会を造る事によって、あらゆる隔て、敵意を解消した平和を実現されるのです。教会は、神の大切な新創造です。新しいひとりの人・教会は、和解の共同体、真の平和を実現して行く共同体です。主の教会のお互いは、①愛をもって真実を語る事（エペソ4：25）と②愛をもって相手の意見、気持ちを聴く事（ヤコブ1：19）のバランスが大切です。そのような霊的な原則が守られる時、主にある平和が実現されて行くのです。御霊なる神は、平和の実を实らせるのを助けられます。

祈り：主が十字架によって私達の隔ての壁、敵意を打ち壊し、新しいひとりの人、教会を造り上げ、真の平和を実現して下さいことを感謝します。まず神が私達を愛された愛、今も愛し続けておられる愛を受け続け、私達も互いに愛し合えますように！

Ⅳ 先行する神の恵みへの私達の応答

1. 神の恵みを受け続け、主を信じ、心に迎え、主が喜ばれる洗礼を受ける。
2. 洗礼を受けた後も、悔い改め、神の恵みを受け続け、主の恵みを数え感謝し、主日礼拝を捧げる。
3. 毎朝、素晴らしい神と交わる＝ディボーション。御言葉と祈りの時。みことばの光。神は、私達との交わりを楽しみにしておられる。神の時間と心をそこに置いて、集中して下さい。私達への心からの愛。
4. 素晴らしい主を伝える。愛の振舞い、言葉を通して。みことばを語る牧師、宣教師、サマーキャンプの講師、KGK夏季学校の講師、青年大会（テーマ：信仰継承）、地区聖会の講師（テーマ：信仰継承）の為に祈り支える。子供達からご年配の方々、全世代の方々が救われるように祈りたい。
5. 神が、礼拝に送って下さる一人一人を心から歓迎する。自分の存在が受け入れられ、歓迎される愛は、相手に伝わる。「キリストがあなたがたを受け入れてくださったように、あなたがたも受け入れ合いなさい」ローマ15：7。 すべての人間関係が、支配的関係から、対話的關係に変えられますように！
6. まず、礼拝、伝道、交わりができる礼拝堂、座り易い椅子が与えられている恵みを感謝したい。1999年、新会堂献堂式。この20年間、用いられ続けてきた恵みを感謝したい。と同時に、どこの教会も、20年経つと、修理が必要となる。すべての必要が与えられる様に、信じて祈りましょう。旧約時代の神殿も修理、修繕がなされた。「神殿のどこかが破損していれば、その破損の修繕にそれを充てなければならない」Ⅱ列王12：5。「主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな」詩篇103：2。これまで会堂が用いられて来た恵みを感謝しつつ。これまで、すべての必要が与えられて来た恵みを感謝しつつ。「神は、キリスト・イエスの栄光のうちにあるご自身の豊かさにしたがって、あなたがたの必要をすべて満たして下さいます」ピリピ4：19。私は、主を信じて45年間、この御言葉の真実さを、個人的必要でも、教会の必要でも体験しました。本気で神を信じ祈りましょう！神は生ける神！